

令和3年7月1日

日本青年国際交流機構
会 長 高 下 正 晴

IYEO サポーター制度の創設について

新型コロナウイルスの感染が全世界に広がってから約1年が経ち、人と人とが直接会って笑顔を交わし、議論するリアルのやり取りが基本だった国際交流は止まってしまいました。私たち会員の多くが国際交流を始めるきっかけになった内閣府青年国際交流事業も、令和2年度は全ての事業の対面での実施が中止されました。

国際交流を進めるには非常に厳しい環境ですが、IYEOは動きを止めることはありません。

各ブロックで行われているブロック大会は、熊本県で行われた全国大会も含めて半分以上をオンライン開催に切り替えて開催しました。複数の分散したサテライト会場と、自宅からの参加者をオンラインで結び、基調講演、小グループでのワークショップを行い、懇親会も行いました。移動することなく自宅に居ながらにして参加できるのは新鮮な経験で、参加のハードルが大きく下がったという声を多く聞きました。また、子育て中の方や病氣療養中の方など、普通であれば参加が難しい方にも門戸を開く新しいスタイルになり得ると感じています。

内閣府青年国際交流事業も、代替事業としてオンライン交流事業が行われました。海外青年とテーマごとに議論をして、成果のプレゼンをしたり、本来訪問するはずだった施設のオンライン視察等を行いました。「学び」の成果としては、充分にあったかもしれませんが、交流自体はリアルでの体験には及びません。青年たちは、「次はリアルで会おう！」を合言葉にオンラインでの交流を続けてきています。

今後も魅力的で刺激的な団体であり続けるために、若者たちの新たな挑戦を応援します。

コロナ禍で通常の活動ができないこともあり、IYEOのこれまでの長い歴史の中で手を付けられていなかった課題解決と、2025年に向けたIYEOの新たな社会的価値を創造する取組を並行して進める「IYEO リバイバルプラン」に取り組んでいます。

コロナ禍で急速にクローズアップされた課題は、内閣府青年国際交流事業の参加者が、入会時に納める事後活動研修費(旧入会金)に頼る財政状況です。令和2年度は内閣府事業が全て中止され、令和3年度も例年通りの実施は危ぶまれている中、外部環境に活動自体が影響される脆弱さを改めて感じています。

一方で、IYEOの新たな社会価値を創造する取組として、「IYEO 未来創造会議」を進めています。将来のIYEOの活動を担っていく40歳までの若者が望むIYEOの未来に繋げる活動を自分たちで創っていこうというもので、30名超もの若者が参加を表明してくれました。ちょうど今、メンバーによる議論がスタートしたところで、様々なアイデアが飛び出しています。

IYEOは時代の変化に合わせて進化し、新たな魅力が加わろうとしています。

こういった意欲ある若者による新たな動きを継続的に支援するためには、会員の皆様、特に先輩会員の皆様による継続的な活動支援の仕組みが必要と考え「IYEO サポーター制度」を創設することとしました。つきましては、コロナ禍で容易ならざるときではございますが、主旨への御理解を賜り、IYEOの意欲ある若者たちの活動を支える「サポーター」になっていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

(裏面に続く)

IYEO サポーター制度

『想い』を『支援』につなげる “志金”を全国に。IYEO だからこそできる社会貢献を皆様と。

IYEO サポーター制度とは？

IYEO をサポートしていただく新しい仕組みです。寄付(=志金)にご協力いただき、その志金を都道府県 IYEO のプログラムや、IYEO の新しい社会貢献活動に活用していきます。

IYEO を支えていただく皆様と一緒に、全国の IYEO が一丸となり、これまで以上に人材育成に注力し、社会に貢献していく団体を目指します。

志金の使い道は？

皆様からお預かりした志金は、人材育成と社会貢献活動に活用いたします。

例えば、都道府県 IYEO によるグローバルリーダーの育成のためのプロジェクトや、IYEO の新たな活動、それらを準備・運営していくための資金などに分配をしていきます。

都道府県の垣根を超えた、IYEO ならではの活動を実現するための基盤となるのがこの志金です。

IYEO サポーターになると？

志金を提供していただいた皆様には、志金から生まれた成果を様々な形でお伝えします。サポーター同士の交流や、今まさに成長しようとしている若者たちの活動報告の場にも参加いただけます。

1. 育まれた人材からのお礼状(年に1回郵送でご連絡いたします。郵送希望でない方はメール発信します)
志金を活用して実施したプログラムの主催者や参加者から感謝のお手紙をお送りします。いただいた志金から生まれた＜物語＞をお届けします。
2. 報告会:
志金を活用して実施したプログラムで成長を遂げた若者たちから、活動を報告します。志金を活用して新しく始まったプログラムの成果報告会にご案内します。
3. サポーター交流会(当面はオンライン設定の予定):
全国にいるマンスリーサポーターの仲間たちとの交流会や、事業に参加した若者との交流会にご参加いただけます。新しい交流の場とその機会を得ることができます。

IYEO サポーターとしてのご支援のお願い

ご支援方法1 クレジットカード決済の場合はウェブサイトからお手続きください。<https://www.iyeo.or.jp/supporter/>

ご支援方法2 銀行振り込みの場合、下記口座にお振込みください。

- ・ゆうちょ銀行から 日本青年国際交流機構 記号番号:10110 番号:49317621
 - ・他行から 銀行名:ゆうちょ銀行 店番号:0 一八(ゼロイチハチ店) 普通 口座番号:4931762
- お振込用紙の備考欄、または Email (iyeobokin@iyeo.or.jp)にて、
- 1.氏名
 - 2.参加事業名
 - 3.事業参加年度
 - 4.ホームページ寄付者名記載希望
 - 5.住所
 - 6.電話番号
 - 7.メールアドレス、のご連絡をお願いします。

本件に関する問い合わせ先:IYEO 事務局 03-3249-0767 secretariat@iyeo.or.jp